

掲載論文一覧

越山 健治

越山健治, 福留邦洋:自治体防災担当者向け研修プログラムの教育効果の検証, 地域安全学会論文集, No.8, pp.387-394, 2006.

越山健治:災害対応経験の知識移転による支援に関する研究—新潟県中越地震に対する兵庫県職員へのインタビュー調査から—, 減災, Vol.2, pp.99-109, 2007.

越山健治, 河田恵昭, 越村俊一, 原田賢治, 鈴木進吾:リアルタイム津波情報システム活用方策の検討, 日本災害情報学会第8回研究発表大会予稿集, pp.273-276, 2006.

近藤 伸也

近藤伸也, 目黒公郎:利用組織/地域の特性に応じた防災システム導入手法の検討, 第12回日本地震工学シンポジウム論文集, pp.1274-1277, 2006.

Shinya KONDO and Kimiro MEGURO:DEVELOPMENT OF A NEW METHOD FOR DISASTER RESPONSE ASSESSMENT USING DISASTER INFORMATION OBTAINED BY THE CURRENT SYSTEM, Journals of the Japan Society of Civil Engineers, 印刷中.

阿部真理子, 近藤伸也, 目黒公郎:過去の災害事例のデータベース化と活用法の検討, 土木学会第61回年次学術講演会講演概要集, 2006.

近藤伸也, 永松伸吾, 近藤民代, 川西勝, 安富信:教育工学を取り入れた防災研修・訓練の設計のあり方—一人と防災未来センター図上訓練・マスコミ演習を題材として—, 日本災害情報学会第8回研究発表大会予稿集, pp.77-82, 2006.

永松伸吾, 近藤伸也, 川西勝, 安富信:災害対応能力をどう鍛えるか—一人と防災未来センター図上訓練・マスコミ演習を題材として—, 日本災害情報学会第8回研究発表大会予稿集, pp.83-88, 2006.

川西勝, 安富信, 永松伸吾, 近藤民代, 近藤伸也:災害時における地方自治体の広報戦略に関する考察—一人と防災未来センター図上訓練・マスコミ演習を題材として—, 日本災害情報学会第8回研究発表大会予稿集, pp.71-76, 2006.

安富信, 大野淳, 永松伸吾, 越山健治, 近藤民代, 近藤伸也:ハリケーン・カトリーナ水害における地元紙の取り組み, 日本災害情報学会第8回研究発表大会予稿集, pp.1-6, 2006.

近藤民代, 永松伸吾, 越山健治, 近藤伸也:ハリケーン・カトリーナ災害における状況認識の統一に関する研究—フロリダ州の Common Operational Picture を事例に—日本災害情報学会第8回研究発表大会予稿集, pp.7-12, 2006.

高橋佳奈, 近藤伸也:『本当に必要な防災情報とは何か』—受け手にとって有用な情報の発掘をめざして—, 日本災害情報学会第8回研究発表大会予稿集, pp.111-112, 2006.

近藤伸也, 目黒公郎:利用組織/地域の特性に応じた防災システム導入手法の検討, 第12

回日本地震工学シンポジウム, 2006.

近藤伸也, 永松伸吾, 近藤民代, 川西勝, 安富信:教育工学を取り入れた防災研修・訓練の設計のあり方—人と防災未来センター図上訓練・マスコミ演習を題材として—, 日本災害情報学会第8回研究発表大会, 2006.

近藤民代

近藤民代, 越山健治, 林春男, 福留邦洋, 河田恵昭:新潟県中越地震における県災害対策本部のマネジメントと状況認識の統一に関する研究—「目標による管理」の視点からの分析—, 地域安全学会論文集, 2006.

近藤民代:米国世界貿易センタービル同時多発テロ後の災害復興プロセス 多様なステークホルダーによる都市の再生, 日本都市計画学会関西支部論文集(奨励賞), 2006.

近藤民代, 越山健治, 永松伸吾, 近藤伸也:ハリケーン・カトリーナ災害における状況認識の統一に関する研究—フロリダ州の Common Operational Picture を事例に, 災害情報学会.

近藤民代:米国世界貿易センタービル同時多発テロ後の多様な主体による災害復興プロセス, 日本建築学会大会(関東), 2006.

近藤民代:第2号 カラーグラフ ハリケーン・カトリーナによる被害, 減災, Vol.2.

近藤民代:鹿児島県水害調査(2006 災害年報), 減災, Vol.2.

鈴木 進吾

鈴木進吾, 越村俊一, 河田恵昭:PCクラスタを用いたリアルタイム津波予測手法の開発とその活用に関する研究, 海岸工学論文集, 第53巻, pp.1331-1335, 2006.

鈴木進吾:不確定性を考慮した津波減災システムの開発に関する研究, 京都大学学位論文.

越山健治, 河田恵昭, 越村俊一, 原田賢治, 鈴木進吾:リアルタイム津波情報システム活用方策の検討, 日本災害情報学会第8回研究発表大会予稿集, pp.273-276, 2006.

照本 清峰

照本清峰:活断層情報と地震リスク対策, 減災, Vol.2, pp.116-127, 2007.

照本清峰:治水対策と河川環境に関する地方自治体職員の意識分析, 土木学会第61回年次学術講演会講演梗概集(IV), CD-ROM, 2006年9月.

照本清峰, 佐藤照子, 福囿輝旗, 池田三郎:水害対策と河川環境整備に関する地方自治体職員の意識構造, 土木計画学研究講演集, CD-ROM, 2005年12月.

永松 伸吾

永松伸吾:新潟県中越地震発生直後の小千谷市における贈与経済の発生メカニズムと経済復興に与える影響に関する分析, 計画行政, 30(1), pp.109-116, 2007.

- 永松伸吾:人口減少社会における防災政策の課題, 季刊ひょうご経済, 第 93 号, pp.25-31.
- 永松伸吾:地域経済の復興の鍵は何か?—贈与経済と市場経済に関する考察より, 『論 (RON)』—被災からの再生, 関西学院大学出版会, pp.211-231.
- 永松伸吾:新潟県中越地震 地元業者の連携が守った地域経済(新潟県小千谷市)(シリーズ災害列島を生きる⑱—自治体に託された教訓), 月刊ガバナンス, ぎょうせい, 2006 年 10 月号, pp.82-85, 2006.
- 永松伸吾, 近藤伸也, 川西勝, 安富信:災害対応能力をどう鍛えるか 人と防災未来センター 図上訓練・広報マスコミ演習を題材として, 災害情報学会予稿集, 2006.
- 永松伸吾:米国の地方行政の特色と標準的危機対応システム, DRI調査研究レポート, ハリケーン・カトリナにおける米国地方行政の災害対応に関する研究, 人と防災未来センター, Vol.13, pp.12-16, 2006.
- 永松伸吾, 丸谷浩明, 野村達雄:関西企業の事業継続の取り組みと課題, 地域安全学会梗概集, pp.25-28, 2006.
- 永松伸吾:大震災からの地域経済復興戦略とは 新潟県小千谷市を事例として, 日本計画行政学会, 於大阪大学, 9 月 15 日.
- 永松伸吾:災害対応能力をどう鍛えるか 人と防災未来センター図上訓練・広報マスコミ演習を題材として, 災害情報学会, 於専修大学, 10 月 28 日.
- 永松伸吾:関西企業の事業継続の取り組み状況と課題, 地域安全学会, 於愛媛県愛南町, 5 月 19 日.

原田 賢治

- 原田賢治, 沖村孝, 鳥居宣之:インド南東部におけるスマトラ沖地震津波の被災調査, 海岸工学論文集, 第 53 巻, pp.296-300, 2006.
- 山崎栄一, 立木茂雄, 林春男, 田村圭子, 原田賢治:災害時要援護者の避難支援に関する政策法務のあり方について, 地域安全学会論文集, No.8, pp.323-332, 2006.
- 原田賢治:インド南東部におけるインド洋津波の数値計算, 津波工学研究報告, 第 23 巻, pp.31-34, 2006.
- 越山健治, 河田恵昭, 越村俊一, 原田賢治, 鈴木進吾:リアルタイム津波情報システム活用方策の検討, 日本災害情報学会第 8 回研究発表大会予稿集, pp.273-276, 2006.

平山 修久

- 平山修久, 越山健治, 伊藤禎彦, 河田恵昭:災害時応急復旧過程における上水道のクライシスコミュニケーションのあり方に関する一考察, 環境衛生工学研究, 第 20 巻, 第 3 号, pp.35-38, 2006.
- 平山修久, 越山健治, 伊藤禎彦, 河田恵昭:災害時における上水道のクライシスコミュニケーションのあり方に関する研究, 日本リスク研究学会第 19 回研究発表会講演論文集,

Vol.19, pp.43-48, 2006.

平山修久, 越山健治, 河田恵昭:災害時における避難情報提供のあり方に関する一考察, 日本災害情報学会第8回学会大会研究発表予稿集, pp.49-54, 2006.

伊藤禎彦, 城征司, 平山修久, 越後信哉, 大河内由美子:水道水に対する満足感の構成概念と水道システムにおける必要改善項目の分析, 環境衛生工学研究, 第20巻, 第3号, pp.27-34, 2006.

伊藤禎彦, 城征司, 平山修久:飲料水としての水道水に対する満足感の因果モデル構築, 第57回全国水道研究発表会講演集, pp.78-79, 2006.

Sadahiko ITOH, Nagahisa HIRAYAMA, Kousuke KAGAWA, and Seiji SHIRO: Development of An Information Disclosure Technique for Reducing Citizens' Concern on Tap Water Quality, Advances in Asian Environ. Eng., Vol.5, No.1, pp.31-38, 2006.

平山修久, 河田恵昭:想定東海地震における災害廃棄物処理の広域連携方策に関する研究, 減災, Vol.2, pp.134-140, 2007.

平山修久:行政の災害対応からみた災害廃棄物発生量に関する研究, 平成18年度廃棄物学会研究討論会講演論文集, pp.107-114, 2006.

平山修久:自助・共助・公助からみた災害時トイレ対策, 災害・都市衛生とトイレフォーラム資料集, pp.99-104, 2006.

堀江 啓

Horie,K. , Okimura,T. , Maki,N. , Tanaka,S. , Torii,N. and Hayashi,H. : Development of Seismic Vulnerability Functions of Building Collapse without Survival Space for Accurate Human Casualty Estimation , Proceedings of 8th U.S. National Conference on Earthquake Engineering, CD-ROM, 2006.

堀江啓:常時微動測定結果の力学的解釈と耐震化への活用に向けた展望, 第1回震災対策セミナーin神戸, 神戸の地盤・減災研究会研究成果報告会配布資料, 2007.

堀江啓:人工衛星画像を用いた Banda Aceh の津波による建物被害の目視判読, 第41回日本リモートセンシング学会学術講演会論文集, pp.199-200, 2006.

堀江啓, 林春男, 吉富望, 田中聡:新潟県中越地震における住家の被害認定過程に関する一考察—罹災調査結果を用いた被害分析—, 第25回日本自然災害学会学術講演会講演概要集, pp.39-40, 2006.

Horie,K. and Okimura,T.:Evaluation on Seismic Performance and Retrofitting of Wooden Houses in Kobe, Proceedings of KU-UW International Symposium #4 on Design Strategy towards Safety and Symbiosis of Urban Space, pp.96-99, 2006.

堀江啓, 沖村孝, 長谷川信介, 鳥居宣之: 兵庫県南部地震による地表面最大速度分に関する一考察, 「ハイブリッド合成法による地震動推定結果と被害の関係」, 第 41 回地盤工学研究発表会講演概要集, pp.2141-2142, 2006.

川西 勝

川西勝, 安富信, 永松伸吾, 近藤民代, 近藤伸也: 災害時における地方自治体の広報戦略に関する考察～人と防災未来センター「図上訓練・マスコミ演習」を題材として～, 日本災害情報学会第 8 回研究発表大会予稿集, 2006.

川西勝: 活断層近傍に暮らす住民の危機意識に関する調査, 第 25 回日本自然災害学会学術講演会講演概要集, 2006.

川西勝, 安富信, 永松伸吾, 近藤民代, 近藤伸也: 災害時における地方自治体の広報戦略に関する考察～人と防災未来センター「図上訓練・マスコミ演習」を題材として～, 日本災害情報学会, 2006.

川西勝: 活断層近傍に暮らす住民の危機意識に関する調査, 第 25 回日本自然災害学会, 2006.